

---

### 3. 上位・関連計画の整理

上位・関連計画は以下の通りである。

- (1) 岡崎城跡整備基本計画 改訂版(平成 29 年 3 月)
- (2) 岡崎公園 植栽管理計画基本方針報告書(平成 30 年 3 月)
- (3) 第 6 次岡崎市総合計画後期基本計画
- (4) 岡崎城跡石垣保存修理基本計画 (平成 30 年 6 月)
- (5) 竜城風致保全方針

以上の 5 点について、本計画に関連すると考えられる部分を抜粋して以下に記す。

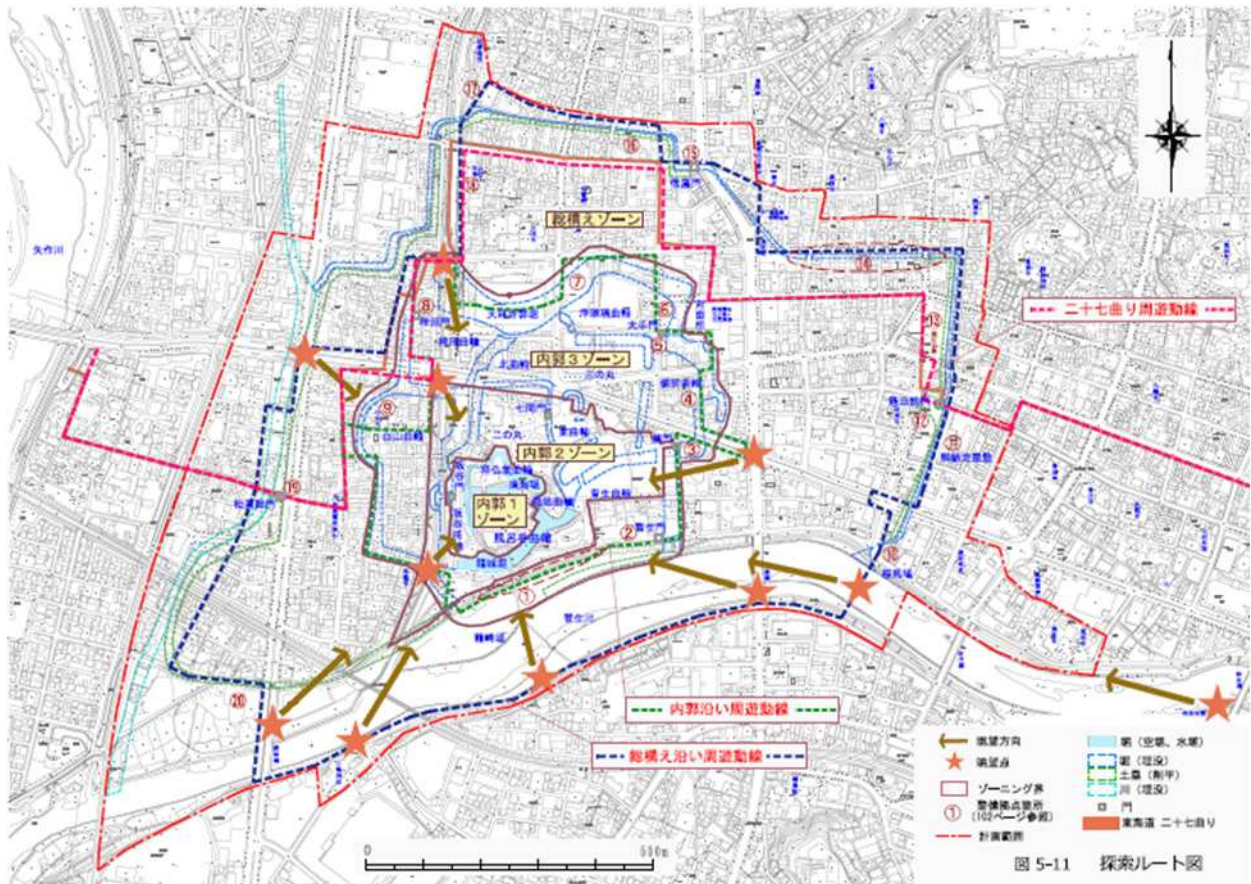
#### (1) 岡崎城跡整備基本計画 改訂版(平成 29 年 3 月)

平成 28 年度に岡崎市は、「岡崎市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、これを機に、岡崎城跡の歴史文化資産としての価値をより高めるため、平成 27・28 年度において史跡岡崎城跡整備基本計画の改訂を行っている。その改訂では、史跡指定範囲のみならず、近世の城下町を含めた総構え全体についても一体として整備を行い、史跡としての価値を確実に未来へ伝え、城下町を囲む総構えの岡崎城跡の姿が見てわかる整備を目指すとし、以下の整備理念に基づいて事業の推進を図った。

#### <整備理念>

- ・岡崎城は、中世末期の築城時から近代に至るまで歴史や政治の舞台として岡崎のまちを形成してきた現在の都市の核であり、本市の歴史文化保護の象徴として位置づけ、将来に渡り確実にその価値を継承し保存していく。
- ・岡崎城跡ならではの特性や価値を顕在化する城跡整備を目標に掲げる。その保存管理の方法を確立し、史跡保存の目的にかなった文化財活用整備を進めていく。
- ・総構え等の城郭遺構がもつ価値を史実に基づきわかりやすく示すことで、良質な都市空間を形成し、観光やまちづくり、文化財活用ネットワークの拠点として整備する。利用者に対し岡崎城跡の魅力が向上し、総じて市民に身近な存在で愛着のある整備を図る。

## ＜整備基本計画における眺望点＞



出典：岡崎城跡整備基本計画

- 植栽管理計画において眺望点（★印）から天守への眺望を確保する。

＜整備基本計画における内郭1ゾーン・内郭2ゾーンの史跡指定エリア周遊動線＞



図 5-10 探訪ルート図（市史跡指定地）

出典：岡崎城跡整備基本計画

- 植栽管理計画において探索動線上の石垣等の遺構について顕在化を図る。



---

## ＜整備基本計画における植栽管理の考え方＞

### ●岡崎城跡の価値を高める植栽管理

- ・遺構の保全や歴史的景観の形成等を図り、岡崎城跡の価値を高めることを目的とした植栽管理計画を作成し、適正に管理していく。
- ・業者選定にあたっては、史跡に関する植栽管理であるという観点から、これまでの経験や能力を検討して選定する。

#### 1) 伐採・剪定

- ・樹木は景観形成の重要な要素であるという観点で剪定等を行い、歴史的景観の向上を図る。
- ・石垣等に生育しており、遺構に損傷を与えたり、その景観を阻害したりしている樹木については伐採・剪定し、あるいは影響が出る前の低木の段階で整理し、城郭遺構の保存と歴史的景観の保全を図る。
- ・通景（見通す景観）阻害となっている樹木については伐採・剪定し、史跡の価値向上を図る。
- ・公園内において、枯損木等は来園者の安全確保のため伐採・剪定する。
- ・外来種（メタセコイア、ヒマラヤスギ等）は、史跡としての歴史性にそぐわないため伐採の対象とする。

#### 2) 樹木の更新

- ・近世の絵図や本多静六の岡崎公園設計案等も考慮し、歴史的景観復元を目標にした樹木の更新を行なう。
- ・史跡指定地内は風致地区指定範囲でもあり、緑の確保も求められている。枯損木に際しては景観等を考慮し、適切な樹種により更新を行っていく。

## (2) 岡崎公園植栽管理計画基本方針報告書(平成 30 年 3 月)

岡崎城跡整備基本計画を踏まえ、本公園にふさわしい植栽のあり方を検討し、今後の維持管理の方向付けを行うことを目的に策定されたものである。

#### 1) 植栽管理の基本的な考え方

|                 |
|-----------------|
| 城跡としての本質的価値を高める |
|-----------------|

- ・石垣などの遺構の保全に十分配慮し、歴史的景観の形成を図る。
-

---

#### 岡崎城への眺望を確保し歴史的景観を確保する

- ・ 天守を美しく望める視点場から見た城への景観を保全していく。

#### 市中心部の都市公園としてみどりの景観を整える

- ・ 来園者への安全の確保に努め、適切な管理を行う

#### 親しまれ利用される緑の空間をつくる

- ・ 多様なレクリエーション活動や市民参加・交流、観光利用に応える空間となるような整備を行う。

### 2) 植栽管理基本方針

- ① 各曲輪景観、近世の絵図等を考慮し歴史的景観の向上を図る。
- ② 石垣の保全については、岡崎城跡石垣保存修理基本計画に基づき適切な管理を行い、石垣を損傷する樹木は伐採除去する。
- ③ 土塁の保全については、状態を見ながら、その樹木の持つ景観的価値を考慮して、必要に応じ慎重な検討を行う。
- ④ 天守への見通しや石垣などへの景観を阻害する樹木については適切な管理を行う。
- ⑤ 歴史的景観にふさわしくないとされる外来種樹木は除去を原則とする。
- ⑥ 公園内の安全確保のため枯損樹木は速やかに撤去する。また、風致地区指定範囲であることから、樹木の状態、特性に応じた管理を行い、緑を確保する。
- ⑦ 春の桜や秋の紅葉など、市内外の多くの人から親しまれており、今後とも季節の豊かさを感じ味わうことができるように適切な保護・育成管理を行う。特に、花見の名所にふさわしい公園として桜の連続性、花の量などを維持するために、注意深く見守りながら、適切な管理を行う。

### (3) 第6次岡崎市総合計画後期基本計画

(平成27年2月策定、計画期間：平成27年度～平成32年度)

「第6次岡崎市総合計画後期基本計画」の重点プロジェクト1として「歴史観光プロジェクト」が掲げられている。その手法の1つに「岡崎（城跡）公園整備」事業が位置付けられ、城跡にふさわしい城郭遺構の復元などによる、歴史的価値の向上を図っていくとされている。

---

---

#### (4) 岡崎城跡石垣保存修理基本計画（平成 30 年 6 月策定）

この計画は、今後岡崎城跡の本質的価値を構成する石垣の保存修理を円滑に推進する上で、石垣保存修理に対する基本方針や修理の方針・方法、さらにはその実施の方向性について定めることを目的とし策定されたものであり、以下の考え方が示されている。

##### ●保存・活用に関する理念

###### （保存に関する理念）

- ・城跡の本質的価値の根幹である石垣の適切な保存と次世代への継承
- ・城跡の調査研究の継続

###### （活用に関する理念）

- ・貴重な歴史文化遺産である石垣への誇りと愛着の向上
- ・公開・活用に伴う安全性の向上

##### ●保存管理の基本的な考え方

- ・岡崎城跡内（一部指定地外も含む）の城郭に関連する石垣 1 面ごとに現地調査を行い、石垣の状態（変状の有無や程度）や、石垣がおかれている利用形態の 2 つの側面を客観的に捉え、石垣の現状を把握するために、石垣カルテを作成する。なお、石垣の日常的な維持管理や定期的な観測により石垣カルテの追加更新を図る。

##### ●活用の基本的考え方

- ・石垣の顕在化を図る
- ・幅広い情報発信、周知活動を図る
- ・円滑な保存・活用にむけた体制整備を図る

##### ●石垣保存修理基本計画

- ・石垣カルテの追加・更新や石垣保存のための日常的な維持管理など、適切な維持管理の継続。
  - ・城跡の本質的価値の根幹である石垣の価値を損なうことのない保存修理とする。
  - ・岡崎城跡整備基本計画との整合を図りつつ、適切な城跡の保存活用にむけた保存修理とする。
  - ・保存修理工事は、変状箇所の現状評価や詳細調査を行ったうえで、石垣の特徴や緊急性に応じて、修理工事の優先度と適切な修理方針を選択する。
  - ・保存修理にむけた体制の確立と関係機関や市民との連携の強化と協力を図る。
-

## (5) 竜城風致保全方針

岡崎市では、風致地区における保全方針を風致地区毎で設定している。  
岡崎公園が位置する「竜城風致地区」における保全方針は以下のとおりである。園内の植栽の検討にあたり留意する必要がある。

表 竜城風致地区保全方針

|             |                                                                                                                                                                                                                                                                                        |    |          |            |                                                |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----------|------------|------------------------------------------------|
| 地区名         | 竜城風致地区                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 面積 | 約 27.2ha | 指 定<br>年月日 | (当初) 昭和 16 年 9 月 27 日<br>(最終) 昭和 45 年 6 月 15 日 |
| 風致類型        | 緑地保全系：公園・神社仏閣・歴史的文化財型<br>(歴史的に意義のある史跡を中心とした自然的景観の良好な地域／公園緑地を中心とした自然的景観の良好な地域)                                                                                                                                                                                                          |    |          |            |                                                |
| 指定理由        | 風致地区の指定により、岡崎城を中心とした良好な歴史的・自然的景観を維持する。                                                                                                                                                                                                                                                 |    |          |            |                                                |
| 地区特性        | (地区の現況)<br>・岡崎城を核とする岡崎公園と殿橋下流の乙川河川緑地を中心とした地区である。<br>・徳川家康公生誕の地である岡崎城は、岡崎市の歴史的シンボルとなっている。<br>・岡崎公園は桜の名所として知られている。<br>(地区の歴史)<br>・岡崎城は三河の守護代西郷頼頼が康正元年(1455)に築城。<br>・その後松平氏の居城となり、天文 11 年(1542)に松平竹千代(後の徳川家康)が城内で生まれた。<br>・明治 6 年～7 年にかけて取り壊しとなったが、昭和 34 年に三層五階の天守閣と井戸櫓、附櫓が 86 年ぶりに復元された。 |    |          |            |                                                |
| 主 な<br>風致要素 | (自然的環境)<br>・岡崎公園内には大木を含む樹林地があり、良好な自然的環境を形成している。<br>(自然的景観)<br>・岡崎公園内の樹林は、岡崎市の中心市街地におけるまとまった緑として、良好な自然的景観を形成している。<br>・地区の南側からは、乙川の流れと堤防沿いの桜並木、更に岡崎公園の樹林が一体となった良好な自然的景観を望むことができる。<br>(その他)<br>・岡崎城を核とした良好な歴史的景観を形成している。                                                                  |    |          |            |                                                |
| 種 別         | 第 3 種：全域                                                                                                                                                                                                                                                                               |    |          |            |                                                |
| 保全目標        | 岡崎城を中心とした良好な歴史的・自然的景観を有する地区として、地区全体の景観の維持を図る。                                                                                                                                                                                                                                          |    |          |            |                                                |
| 風致保全<br>方 針 | (保全方針)<br>・岡崎城を核とした良好な歴史的景観の維持を図るために、岡崎公園内の樹林地の保全を図る。<br>・乙川河川緑地を中心とした自然的景観の維持を図るために、堤防沿いの桜並木の保全を図る。<br>(育成方針)<br>・岡崎公園の整備にあたっては、歴史的、自然的景観に配慮した植栽や施設整備を行い、また、公園内の樹林の管理については剪定や補植等適切に行い、風致の育成を図る。                                                                                       |    |          |            |                                                |